



# Cisco Intercloud Fabric のアップグレード

This chapter contains the following sections:

- [Cisco Intercloud Fabric のアップグレードについて, 1 ページ](#)
- [前提条件, 1 ページ](#)
- [Intercloud Fabric のアップグレードワークフロー, 2 ページ](#)

## Cisco Intercloud Fabric のアップグレードについて

Cisco Intercloud Fabric リリース 2.2.1 へのアップグレードは、Cisco Intercloud Fabric 2.1.2 から 2.2.1 へのアップグレードのみがサポートされています。

Cisco Intercloud Fabric 用のアップグレードソフトウェアは、[Cisco.com](#) の [Intercloud Fabric Download Software](#) ページから入手できます。

## 前提条件

- アップグレード中にサービス リクエストが一切実行されないようにします。アップグレードを開始する前に、すべてのサービス リクエストを完了させる必要があります。
- HA モードで展開されている Intercloud Fabric Cloud の場合は、Intercloud Fabric スイッチと Intercloud Fabric Extender をアクティブまたはスタンバイ 状態にしておく必要があります。これらが到達可能であることも確認してください。
- HA モードで展開されている Intercloud Fabric VSM の場合は、HA ペアが正常であること、VSM がアクティブまたはスタンバイ状態であること、およびどちらもオンライン状態であることを確認します。
- Intercloud Fabric Director の管理者パスワードを変更して Prime Network Services Controller の管理者パスワードと同一にします。パスワードを変更するには、Intercloud Fabric Cloud GUI にログインし、[Admin] > [Password] の順に選択します。

# Intercloud Fabric のアップグレードワークフロー

Intercloud Fabric のアップグレードには、次のタスクが含まれます。

## 手順

- 
- ステップ 1 Intercloud Fabric Director アップグレードの前提条件を満たしていることを確認する。  
[前提条件, \(1 ページ\)](#) を参照してください。
  - ステップ 2 Intercloud Fabric のアップグレードソフトウェアバンドルをダウンロードする。  
[Intercloud Fabric アップグレードソフトウェアバンドルのダウンロード, \(2 ページ\)](#) を参照してください。
  - ステップ 3 Upgrade VM を VMware 5.1 または 5.5 ESXi ホストに展開する。  
[VM の展開とアップグレード, \(3 ページ\)](#) を参照してください。
  - ステップ 4 Upgrade VM のネットワークを設定する。  
[Upgrade VM のネットワークの設定, \(4 ページ\)](#) を参照してください。
  - ステップ 5 Intercloud Fabric 2.2.1 の1 つの VM ファイルをダウンロードする。  
[1 つの Intercloud Fabric VM イメージのダウンロード, \(5 ページ\)](#) を参照してください。
  - ステップ 6 `setup_info` ファイルを設定する。  
[setup\\_info ファイルの設定, \(6 ページ\)](#) を参照してください。
  - ステップ 7 Intercloud Fabric のアップグレードスクリプトを実行する。  
[Intercloud Fabric のアップグレード, \(8 ページ\)](#) を参照してください。
  - ステップ 8 Intercloud Fabric のコンポーネントをアップグレードする。  
[Intercloud Fabric コンポーネントのアップグレード, \(10 ページ\)](#) を参照してください。
  - ステップ 9 サービス VM をアップグレードする。  
[サービス VM のアップグレード, \(11 ページ\)](#) を参照してください。
- 

## Intercloud Fabric アップグレードソフトウェアバンドルのダウンロード

Cisco.com から Intercloud Fabric アップグレードソフトウェアバンドルをダウンロードするには、次の手順を実行します。

## 手順

- 
- ステップ 1** ブラウザを使用して <https://software.cisco.com/download/navigator.html> に移動し、[Cloud and Systems Management] > [Cloud Management] > [Intercloud Fabric] > [Intercloud Fabric for Business] の順に選択します。
- ステップ 2** Intercloud Fabric のアップグレードイメージをダウンロードします (icfb-k9-upgrade-2.2.1-pkg.zip)。
- ステップ 3** ダウンロードしたアップグレードイメージファイルを解凍し、icfb-k9-upgrade-2.2.1.zip ファイルを取得します。
- ステップ 4** icfb-k9-upgrade-2.2.1.zip ファイルを解凍し、次のファイルを取得します。
- ICF\_UPGRADE\_VM.ova : Intercloud Fabric のアップグレードを補助する Upgrade VM を VMware 上に展開します。
  - upgrade-icfb-infra-2.2.1.tar : Intercloud Fabric をアップグレードした後、Intercloud Fabric のコンポーネントのアップグレードに使用されます。
- ステップ 5** VMware vCenter クライアントが存在するホストに ICF\_UPGRADE\_VM.ova ファイルをコピーします。
- ステップ 6** 同じホストに upgrade-icfb-infra-2.2.1.tar ファイルをコピーします。
- 

## VM の展開とアップグレード

ここでは、Intercloud Fabric をアップグレードする手順の一部として、VMware ESXi ホストに Upgrade VM を展開する方法について説明します。

### はじめる前に

ICF\_UPGRADE\_VM.ova ファイルに VMware ホストからアクセスできることを確認します。

## 手順

- 
- ステップ 1 VMware vSphere クライアントで、Upgrade VM を展開する ESXi ホストを選択します。
  - ステップ 2 [File] > [Deploy OVF Template] を選択します。
  - ステップ 3 ICF\_UPGRADE\_VM.ova ファイルを参照して選択し、[Next] をクリックします。
  - ステップ 4 Upgrade VM 用のネットワークを選択する際は、Cisco Intercloud Fabric Director と Prime Network Services Controller が存在しているネットワークに、選択したポート グループが到達可能であることを確認します。
  - ステップ 5 VM の残りの情報を入力し、[Summary] 画面の [Power on after deployment] チェックボックスをオンにします。
  - ステップ 6 [Finish] をクリックします。  
Upgrade VM が展開され、その電源がオンになります。
- 

## Upgrade VM のネットワークの設定

Upgrade VM のネットワークを設定するには、次の手順を実行します。

### はじめる前に

Upgrade VM が展開され、実行していること。

### 手順

- 
- ステップ 1 VMware vSphere クライアントで、Upgrade VM を右クリックして [Open Console] を選択します。
  - ステップ 2 次の資格情報を使用して VM にログインします。
    - ユーザ名 : root
    - パスワード : sfish123
  - ステップ 3 root プロンプトで、**ifconfig -a** コマンドを入力し、イーサネット インターフェイス名を取得します。  
次のような情報が表示されます。

```
eth0  Link encap:Ethernet HWaddr 00:50:56:A1:68:5D
      inet addr:209.165.201.25 Bcast:209.165.201.31 Mask:255.255.255.224
      inet6 addr: fe80::250:56ff:feal:685d/64 Scope:Link
      UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1
      RX packets:7789859 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
      TX packets:759319 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
```

```
collisions:0 txqueuelen:1000
RX bytes:5961703905 (5.5 GiB) TX bytes:6777958552 (6.3 GiB)
```

**ステップ 4** 編集用に /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-ethX ファイルを開きます。このファイルが存在しない場合は作成してください。

**ステップ 5** 必要なネットワーク情報 (IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ IP アドレスなど) を入力し、ファイルを保存して終了します。  
入力は次の例のようになります。

```
DEVICE=eth0
TYPE=Ethernet
ONBOOT=yes
NM_CONTROLLED=yes
BOOTPROTO=static
IPADDR=209.165.201.25
NETMASK=255.255.255.224
GATEWAY=209.165.201.1
```

**ステップ 6** **ifconfig** コマンドを入力して、インターフェイスに正しい IP アドレスが割り当てられていることを確認します。

**ステップ 7** 編集用に /etc/resolv.conf ファイルを開き、次の情報を入力します。

- ドメイン名
- DNS サーバの IP アドレス。

**ステップ 8** **service network restart** コマンドを入力して、ネットワークを再開します。

**ステップ 9** Upgrade VM の IP アドレスをメモします。このアドレスは Intercloud Fabric のアップグレードで必要になります。

## 1 つの Intercloud Fabric VM イメージのダウンロード

Cisco.com から Intercloud Fabric の 1 つの VM イメージをダウンロードするには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** ブラウザを使用して <https://software.cisco.com/download/navigator.html> に移動し、[Cloud and Systems Management] > [Cloud Management] > [Intercloud Fabric] > [Intercloud Fabric for Business] の順に選択します。

**ステップ 2** Intercloud Fabric の 1 つの VM イメージをダウンロードします (icfb-k9-2.2.1-pkg.zip)。

**ステップ 3** イメージファイルを解凍し、1 つの Intercloud Fabric 2.2.1 VM の展開に使用される icf-2.2.1.ova ファイルを取得します。

**ステップ 4** 次のようにして、Upgrade VM に icf-2.2.1.ova ファイルをコピーします。

- a) Upgrade VM コンソールにログインします。
- b) /var/www/html/patch ディレクトリに移動します。
- c) SCP または FTP を使用して、/var/www/html/patch ディレクトリに icf-2.2.1.ova ファイルをコピーします。

## setup\_info ファイルの設定

この手順では、アップグレードの準備として setup\_info ファイルを設定する方法について説明します。

### 手順

**ステップ 1** Upgrade VM コンソールにログインします。資格情報は次のとおりです。

- ユーザ名 : root
- パスワード : sfish123

**ステップ 2** /root ディレクトリに移動します。

**ステップ 3** 次の表の情報を使用して、setup\_info ファイルを編集します。

パラメータ	説明	例
<b>[ICF] セクション</b>		
このセクションでは VMware vCenter のパラメータを入力します。		
vc_ip	vCenter クライアントの IP アドレス。	vc_ip = 209.165.201.20
vc_user	vCenter クライアントのユーザ名。	vc_user = root
vc_passwd	vCenter クライアントのパスワード。	vc_passwd = <i>mypassword</i>
esx_host	Intercloud Fabric VM を展開するホストの IP アドレス。	esx_host = 209.165.201.21
datastore	Intercloud Fabric VM のデータ ストアの名前。	datastore = "datastore1 (2)"
vm_name	Intercloud Fabric VM の名前。	vm_name = "icf_209_165_201_25"
ip_addr	Intercloud Fabric VM に使用される IP アドレス。	ip_addr = 209.165.201.25

パラメータ	説明	例
network	Intercloud Fabric VM のイーサネット インターフェイス ネットワークにアタッチするためのネットワーク名。	network - "ICF Network"
subnet	Intercloud Fabric VM のサブネット マスク。	subnet = "255.255.0.0"
gateway	Intercloud Fabric VM のゲートウェイ IP アドレス。	gateway = "209.165.201.2"
domain_name	Intercloud Fabric VM のドメイン名。	domain_name = "cisco.com"
dns_ip	Intercloud Fabric VM の DNS サーバの IP アドレス。	dns_ip = "209.165.201.10"
ntp_ip	Intercloud Fabric VM の NTP サーバの IP アドレス。	ntp_ip = "209.165.201.11"
timezone	Intercloud Fabric VM のタイムゾーン。	timezone = "America/Los_Angeles"
<b>[ICFD] セクション</b>		
既存の Intercloud Fabric 2.1.2 のインストールから Intercloud Fabric Director の情報を入力します。新しい Intercloud Fabric Director VM はこれらと同じ値を使用します。		
icfd_vm_name	Intercloud Fabric 2.1.2 での Intercloud Fabric Director VM の名前。	icfd_vm_name = abc-icfd
ip_addr	Intercloud Fabric 2.1.2 での Intercloud Fabric Director VM の IP アドレス。	ip_addr = 209.165.201.24
username	Intercloud Fabric 2.1.2 での Intercloud Fabric Director VM のユーザ名。	username = admin
password	Intercloud Fabric 2.1.2 での Intercloud Fabric Director VM のパスワード。	password = "admin_password"
<b>[PNSC] Section</b>		
既存の Intercloud Fabric 2.1.2 のインストールから Prime Network Services Controller の情報を入力します。新しい Prime Network Services Controller VM はこれらと同じ値を使用します。		
pncs_hostname	Intercloud Fabric 2.1.2 での Prime Network Services Controller VM のホスト名。	pncs_hostname = 123-pncs
pncs_vm_name	Intercloud Fabric 2.1.2 での Prime Network Services Controller VM の名前。	pncs_vm_name = 123-pncs

パラメータ	説明	例
ip_addr	Intercloud Fabric 2.1.2 での Prime Network Services Controller VM の IP アドレス。	ip_addr = 209.165.201.25
username	Intercloud Fabric 2.1.2 での Prime Network Services Controller VM のユーザ名。	username = admin
password	Intercloud Fabric 2.1.2 での Prime Network Services Controller VM のパスワード。	password = "pns_c_password"

**ステップ 4** setup\_info ファイルを保存して終了します。

## Intercloud Fabric のアップグレード

Intercloud Fabric をアップグレードするには、次の作業を行うアップグレードスクリプトを実行します。

- 必要なサービス、ネットワーク、ポートプロファイル、および接続が利用可能であることを確認する。
- パッチを Intercloud Fabric Director に適用する。
- Intercloud Fabric Director と Prime Network Services Controller のデータベースをバックアップする。
- Cisco Intercloud Fabric の新しいバージョンをインストールする。
- Intercloud Fabric Director と Prime Network Services Controller のデータベースをリストアし、サービスを再起動する。
- 必要に応じて、upgrade.log ファイルを作成し、参照のためにそれを /root ディレクトリに格納する。

アップグレードを開始して、その進行状況を Upgrade VM コンソールでモニタできます。

### はじめる前に

次の内容を確認します。

- setup\_info ファイルの値が正しいこと。
- icf-2.2.1.ova ファイルが Upgrade VM にコピーされ、/var/www/html/patch ディレクトリに存在していること。
- Upgrade VM の IP アドレスを入手していること。



## 手順

- ステップ 1** Upgrade VM コンソールにログインします。
- ステップ 2** /root ディレクトリに移動します。
- ステップ 3** 次のコマンドを入力して、Intercloud Fabric をアップグレードします。

```
./ICF_Upgrade.py
```

アップグレード スクリプトが起動し、その進行状況をコンソールでモニタできます。アップグレードが完了すると、成功メッセージが表示されます。出力例については、[Intercloud Fabric のアップグレードの出力例](#)、(9 ページ) を参照してください。

スクリプトが失敗し、エラーメッセージが表示された場合は、エラーを確認して、特定された問題を修復し、スクリプトを再実行します。

## 次の作業

[Intercloud Fabric コンポーネントのアップグレード](#)、(10 ページ) に進みます。

## Intercloud Fabric のアップグレードの出力例

以下は、Intercloud Fabric アップグレード スクリプトの実行中に表示される出力の例です。

```
[root@localhost ~]# ./ICF_Upgrade.py
2015-04-24 10:53:08,396 - __main__ - INFO - #####Upgrade procedure#####
2015-04-24 10:53:08,396 - __main__ - INFO - Verifying whether all required images are present
to start the upgrade...
2015-04-24 10:53:08,867 - __main__ - INFO - verifying FTP and HTTP services running
2015-04-24 10:53:08,884 - __main__ - INFO - Logging into ICFD and checking services
/root/.ssh/known_hosts updated.
Original contents retained as /root/.ssh/known_hosts.old
2015-04-24 10:53:21,812 - __main__ - INFO - All services are running on icfd after 10 seconds
2015-04-24 10:53:21,813 - __main__ - INFO - Logging into PNSC and checking services
/root/.ssh/known_hosts updated.
Original contents retained as /root/.ssh/known_hosts.old
2015-04-24 10:53:28,304 - __main__ - INFO - verifying PNSC API connect (required for PNSC
DB backup)
2015-04-24 10:53:28,624 - __main__ - INFO - Verifying gateway ip is pingable
2015-04-24 10:53:35,674 - __main__ - INFO - 209.165.201.1 is pingable in 5 seconds
2015-04-24 10:53:35,674 - __main__ - INFO - Verifying domain name is pingable, which means
dns ip is right
2015-04-24 10:53:42,754 - __main__ - INFO - cisco.com is pingable in 5 seconds
2015-04-24 10:53:42,754 - __main__ - INFO - Verifying ICF VM ip is not in use already
2015-04-24 10:54:06,803 - __main__ - INFO - Verifying there is no VM/Folder/ResourcePool
with same name as ICF on Vcenter
2015-04-24 10:54:07,325 - __main__ - INFO - Verifying the ICFD, PNSC VM names are correct
on Vcenter
2015-04-24 10:54:07,691 - __main__ - INFO - Verifying the ESX hostname and Datastore are
correct on Vcenter
2015-04-24 10:54:07,756 - __main__ - INFO - Verifying OVFTOOL not returning any error with
given config to create the ICF VM
2015-04-24 10:54:11,829 - __main__ - INFO - Logging into ICFD...
.
.
.
.
```

```
Original contents retained as /root/.ssh/known_hosts.old
2015-04-24 12:27:59,167 - __main__ - INFO - All services in PNSC are running now after 5
seconds
2015-04-24 12:27:59,167 - __main__ - INFO - Stopping ICFD services...
2015-04-24 12:28:00,078 - __main__ - INFO - Starting ICFD services...
2015-04-24 12:29:43,882 - __main__ - INFO - All services are running on icfd after 100
seconds
2015-04-24 12:29:43,882 - __main__ - INFO - Upgrade operation completed successfully...
Please login to ICFD UI to start upgrade of infra components
```

## Intercloud Fabric コンポーネントのアップグレード

Intercloud Fabric VSM、Intercloud Fabric Extender、Intercloud Fabric など、Intercloud Fabric Switch コンポーネントをアップグレードするには、次の手順を実行します。サービス VM のアップグレードについては、[サービス VM のアップグレード](#)、(11 ページ) を参照してください。

### はじめる前に

- Cisco.com からアップグレード ソフトウェアをダウンロードしておきます ([Intercloud Fabric アップグレードソフトウェアバンドルのダウンロード](#)、(2 ページ) を参照)。
- upgrade-icfb-infra-2.2.1.tar ファイルをホストにコピーしておきます ([Intercloud Fabric アップグレードソフトウェアバンドルのダウンロード](#)、(2 ページ) を参照)。
- Intercloud Fabric をアップグレードしておきます ([Intercloud Fabric のアップグレード](#)、(8 ページ) を参照)。

### 手順

- 
- ステップ 1** Intercloud Fabric 2.2.1 GUI にログインします。
- ステップ 2** [Intercloud] > [Infrastructure] の順に選択します。
- ステップ 3** [Infrastructure] タブで、[Upgrade ICFD Components] をクリックします。  
[Upgrade ICFD Components] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [Browse] をクリックして、デスクトップにダウンロードした upgrade-icfb-infra-2.2.1.tar ファイルを選択し、[Upload] をクリックしてそのファイルをアップロードします。  
ファイルのアップロードが完了すると、確認メッセージが表示されます。
- ステップ 5** [Process Bundle] をクリックします。  
[Upgrade ICFD Components] ウィンドウに、アップグレードした Intercloud Fabric コンポーネントが一覧表示されます。
- ステップ 6** [Upgrade] をクリックして、Intercloud Fabric コンポーネントをアップグレードします。  
アップグレードの進行中は、他のサービス リクエストを作成しないでください。
- ステップ 7** タスクの状態を表示するには、次の手順を実行します。
- a) [Infrastructure] タブで、タスクのサービス リクエスト番号を検索します。
  - b) [Organizations] > [Service Requests] の順に選択します。

- c) [Service Request] タブをクリックし、サービスリクエスト番号を検索するか、[Search] フィールドにサービスリクエスト番号を入力します。
- d) [View] をクリックして、ワークフローステータス、ログ、入力情報など、サービスリクエストの詳細情報を表示します。

## サービス VM のアップグレード

次の項での説明に従ってサービス VM をアップグレードできます。

- [Intercloud Fabric Router \(CSR\) のアップグレード](#), (11 ページ)
- [Intercloud Fabric Firewall \(VSG\) のアップグレード](#), (12 ページ)

### Intercloud Fabric Router (CSR) のアップグレード

Intercloud Fabric Director を正常にアップグレードした後、次の手順に従って Intercloud Fabric Router (CSR) をアップグレードできます。



- (注) Intercloud Fabric Router (CSR) にアタッチされている仮想マシンのトラフィックは、ルータのアップグレード中に影響を受けます。

#### はじめる前に

Amazon クラウドのアカウントを持っている場合は、以下の手順を実行します。

- 1 Prime Network Services Controller GUI にログインし、[Intercloud Management] > [Infrastructure] > [vpc] の順に選択します。
- 2 VPC で、必要な Intercloud リンクを選択します。
- 3 右側のペインで、[Network Services Templates] を選択し、CSR テンプレートと同期させます。応答として、v3.14.01 または CSR が表示されます。
- 4 CSR テンプレートとの同期後に v3.14.01 または CSR が表示されない場合は、資格情報を使用して Amazon からインスタンスをインスタンス化します。

#### 手順

- ステップ 1 管理者資格情報を使用して Prime Network Services Controller の GUI にログインします。
- ステップ 2 次の手順で、既存の Intercloud Fabric Router (CSR) の設定の詳細をすべて記録します。この情報は、アップグレードした Intercloud Fabric Router (CSR) を設定する際に必要になります。

- a) GUI で、[Resource Management] > [Managed Resources] > [tenant] > [csr] の順に選択し、[Edit] をクリックします。
- b) [Edit] ダイアログボックスの各タブの情報をすべて記録します。これには、各インターフェイスの名前、ホスト名、インターフェイス名、IP アドレス、VLAN とサブネット マスク、および各インターフェイスにアタッチされているデバイス サービス プロファイル、ルータのデバイス プロファイル、インターフェイス サービス プロファイルなどが含まれます。

- ステップ 3** [Resource Management] > [Managed Resources] > [tenant] の順に選択します。
- ステップ 4** 右側のペインで、アップグレードする Intercloud Fabric Router (CSR) を選択します。
- ステップ 5** [Delete] をクリックして、削除を確認します。  
(注) この削除は Intercloud Fabric Router (CSR) にのみ影響を与えます。Prime Network Services Controller のルータに関連付けられているポリシーには影響しません。
- ステップ 6** Prime Network Services Controller GUI からログアウトし、再度ログインします。
- ステップ 7** [Resource Management] > [Managed Resources] > [tenant] の順に選択します。
- ステップ 8** [Actions] > [Add Edge Router] の順に選択します。
- ステップ 9** ウィザードの [Properties] 画面で、Intercloud Fabric Router (CSR) 名、デバイスとデバイス サービス プロファイル、ホスト名、パスワードなど、この手順の前半で収集した情報を追加します。
- ステップ 10** [Service Device] 画面で、[Instantiate in Cloud] を選択して、バージョン 03.14.01 のイメージを選択します。
- ステップ 11** 次の画面で、以前の Intercloud Fabric Router (CSR) が展開されていたクラウドを選択します。
- ステップ 12** [Interfaces] 画面で、この手順の前半で収集したインターフェイス情報を各インターフェイスに設定します。この情報には、インターフェイス名、IP アドレス、サブネットマスク、VLAN タギング、インターフェイス サービス プロファイルなど含まれます。
- ステップ 13** [Summary] 画面で、情報が正確であることを確認し、[Finish] をクリックしてルータを展開します。
- ステップ 14** 展開が完了したら、Intercloud Fabric Router (CSR) のステータスとして「*Running*」と表示されていることを確認します。
- ステップ 15** NAT が設定されている場合は、新たに展開したルータのパブリック IP アドレスを取得し、既存の NAT の設定を更新してパブリック IP アドレスの変更を反映させます。
- ステップ 16** 次の手順で、設定がルータに適用されたことを確認します。
- a) Prime Network Services Controller CLI から、管理 IP アドレスを使用し、管理者として Intercloud Fabric Router (CSR) コンソールにログインします。
  - b) **show run** コマンドを入力し、応答を検証して、設定が正しいことを確認します。

## Intercloud Fabric Firewall (VSG) のアップグレード

Intercloud Fabric Director を正常にアップグレードした後、次の手順に従って Intercloud Fabric Firewall (VSG) をアップグレードできます。

## 手順

- ステップ 1** 管理者資格情報を使用して Prime Network Services Controller の GUI にログインします。
- ステップ 2** 次の手順で、既存の Intercloud Fabric Firewall (VSG) の詳細をすべて記録します。この情報は、アップグレードした Intercloud Fabric Firewall (VSG) を設定する際に必要になります。
- GUI で、[Resource Management] > [Managed Resources] > [tenant] > [vsg] の順に選択し、[Edit] をクリックします。
  - セキュリティプロファイル、各（管理およびデータ）インターフェイスの名前、インターフェイス名、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、ポートグループなど、[Edit] ダイアログボックスの各タブの情報をすべて記録します。
  - [Security Profiles] タブで、セキュリティプロファイルが表示されていることを確認します。
- ステップ 3** [Resource Management] > [Managed Resources] > [tenant] の順に選択します。
- ステップ 4** 右側のペインで、アップグレードする Intercloud Fabric Firewall (VSG) を選択します。
- ステップ 5** [Delete] をクリックして、削除を確認します。
- ステップ 6** Prime Network Services Controller GUI からログアウトし、再度ログインします。
- ステップ 7** [Resource Management] > [Managed Resources] > [tenant] の順に選択します。
- ステップ 8** [Actions] > [Add Compute Firewall] の順に選択します。
- ステップ 9** ウィザードで、この手順の前半で収集した情報を使用して、新しい Intercloud Fabric Firewall (VSG) を展開します。
- ステップ 10** Intercloud Fabric Firewall (VSG) が展開され、*Running* というステータスが表示されたら、次の手順で、ファイアウォールの設定が適切であることを確認します。
- Prime Network Services Controller CLI から、管理 IP アドレスを使用し、管理者として Intercloud Fabric Firewall (VSG) コンソールにログインします。
  - [show running-config] コマンドを入力します。
  - 出力で次の点を確認します。
    - 表示されたバージョンがアップグレードしたバージョンであること。
    - ホスト名、IP アドレス、管理およびデータ インターフェイスの設定、セキュリティプロファイルの情報が正確であること。
    - nsc-policy-agent セクションに、正しい Prime Network Services Controller サーバ情報が表示されていること。
  - 次のように **show nsc-pa status** コマンドを入力して、NSC ポリシー エージェントが正常にインストールされたことを確認します。

```
firewall(config)# show nsc-pa status
NSC Policy-Agent status is - Installed Successfully. Version 2.0(0.72)-vsg
```
- ステップ 11** VSM コンソールにログインし、**show vservice brief** コマンドを入力して、サービス ノードのバインディングを確認します。

応答として、Intercloud Fabric Firewall (VSG) に関する情報、サービス パス、ファイアウォールにアタッチされている VM が表示されます。

---